

令和2年度 指定管理者制度導入施設の管理運営状況について

港湾振興課

1 施設の概要等

| | | | |
|-------|--|------------------|---|
| 施設名 | 福山地域マリーナ施設 | | |
| 所在地 | 福山市新涯町2丁目23-1等2地区 | | |
| 設置目的 | プレジャーボートの適正な係留保管の促進 | | |
| 施設・設備 | ボートパーク福山(海上艇置施設、駐車場、トイレ) 柳津PBS(海上艇置施設、駐車場) | | |
| 指定管理者 | 1期目 | H28.4.1~R8.3.31 | 福山地域ボートパーク運営共同企業体 |
| | | H26.4.1~H28.3.31 | ボートパーク福山:シダックス大新東ヒューマンサービス・ベルポート共同企業体 柳津プレジャーボートスポット:(株)ひろしま港湾管理センター |

2 施設利用状況

| 利用状況 | 年度 | 収容可能艇数 | 目標値 [事業計画] | 艇置数 | 対前年度増減 | 対目標値増減 (達成率) |
|-----------------------|---|--------|---------------|------|--------|-----------------|
| | 1期 | R2 | 493艇 | 411艇 | 413艇 | 6艇 |
| R1 | | 493艇 | 411艇 | 407艇 | 13艇 | △4艇 (99.0%) |
| H30 | | 493艇 | 421艇 | 394艇 | △18艇 | △27艇 (93.6%) |
| H29 | | 493艇 | 421艇 | 412艇 | 13艇 | △9艇 (97.9%) |
| H28 | | 493艇 | 409艇 | 399艇 | 13艇 | △10艇 (97.6%) |
| H26~H27(平均)※ (導入前) | | 493艇 | 302艇 | 386艇 | — | 84艇 (127.8%) |
| 増減理由 | ○コロナ禍でマリンレジャーが活発となり、新たに船を購入し係留する方が増加 ○雑誌広告・店頭チラシ・ロコミ等の宣伝により新規顧客の呼び込みができた | | | | | |

※平成26~27年度の平均は、ボートパーク福山と広島港及び尾道糸崎港における小型船舶特定係留施設に含まれていた当該施設の一部である柳津プレジャーボートスポットに係るものを合算したものである。

3 利用者ニーズの把握と対応

| | | |
|--|---|-----------------------|
| 調査実施内容 | 【実施方法】 | 【対象・人数】 |
| | 利用者意見箱の設置 | 利用者・6名 |
| | 1日2回以上の棧橋巡回 | 利用者・98名 |
| | 【主な意見】 | 【その対応状況】 |
| | 外波の進入で、船舶やロープが損傷を受けている、防波堤を延伸して欲しい。(ボートパーク福山) | 県と指定管理者で実現可能な方法を検討する。 |
| 港口周辺が土砂の堆積で浅瀬が広がり、干潮前後の入出港が難しい、土砂を取り除き、航路をわかりやすくして欲しい。(柳津プレジャーボートスポット) | 県と指定管理者で実現可能な方法を検討する。 | |

4 県の業務点検等の状況

| 項目 | 実績 | 備考 |
|------------|-----------------------------------|-----------------------------------|
| 報告書 | 年度 | ○ 事業報告書 |
| | 月報 | ○ 入艇状況報告等 |
| | 日報(必要随時) | ○ 日報の中の主要な苦情、要望等について随時報告 |
| 管理運営会議(随時) | 【特記事項等】 現地調査を実施した。 | 【指定管理者の意見】 事業実施計画に基づき、適切に実施した。 |
| 現地調査 | 【県の対応】 適切に管理運営が実施されていることを確認した。 | |

5 県委託料の状況

(単位：千円)

| | 年度 | | 金額 | 対前年度増減 | | 年度 | | 金額 | 対前年度増減 |
|---------------|---------------|--------|----|---------------|------|--------|---------------|----|--------|
| | 県委託料 (決算額) | 1期 | R2 | 0 | | 0 | 料金収入 (決算額) | 1期 | R2 |
| R1 | | | 0 | 0 | R1 | 52,624 | | | 465 |
| H30 | | | 0 | 0 | H30 | 52,159 | | | 60 |
| H29 | | | 0 | 0 | H29 | 52,099 | | | 488 |
| H28 | | | 0 | △30,125 | H28 | 51,611 | | | 51,611 |
| H26～H27 (平均)※ | | 30,125 | — | H26～H27 (平均)※ | 該当なし | | | | |
| (導入前) | | — | — | (導入前) | — | — | | | |

※ 平成26～27年度の平均は、ポートパーク福山と広島港及び尾道系崎港における小型船舶特定係留施設に含まれていた当該施設の一部である柳津プレジャーボートスポットに係るものを合算したものである。

6 管理経費の状況

(単位：千円)

| 項目 | | R2 決算額 | R1 決算額 | 前年度差 | 主な増減理由等 | |
|--------------|----------|----------|--------|--------|------------------------------|-------------------|
| 委託事業 | 収入 | 県委託料 | 0 | 0 | 0 | |
| | | 料金収入(※1) | 54,140 | 52,624 | 1,516 | 消費税増加分および艇数増加 |
| | | その他収入 | 201 | 156 | 45 | |
| | | 計(A) | 54,341 | 52,780 | 1,561 | |
| | 支出 | 人件費 | 15,313 | 14,451 | 862 | 正社員の入退職、昇給 |
| | | 光熱水費 | 678 | 704 | △26 | |
| | | 設備等保守点検費 | 1,601 | 1,646 | △45 | |
| | | 清掃・警備費等 | 1,332 | 1,373 | △41 | |
| | | 施設維持修繕費 | 501 | 61 | 440 | 設備補修工事の増加 |
| | | 事務局費 | 13,188 | 12,193 | 995 | 消費税改正等による本部管理費の増加 |
| その他 | | 6,100 | 5,635 | 465 | 支払消費税の増加 | |
| | 計(B) | 38,713 | 36,063 | 2,650 | | |
| | 収支①(A-B) | 15,628 | 16,717 | △1,089 | | |
| 自主事業 (※2) | 収入(C) | 836 | 667 | 169 | 利用者増による自販機売上の増加 | |
| | 支出(D) | 134 | 160 | △26 | | |
| | 収支②(C-D) | 702 | 507 | 195 | | |
| 合計収支(①+②) | | 16,330 | 17,224 | △894 | (うち県への納付額 15,200 千円) (R2) ※3 | |

※1 利用料金制：公の施設の使用料について、指定管理者が直接使用料等を収入することができる制度。指定管理者の自主的な経営努力を發揮しやすくする効果が期待され、地方公共団体及び指定管理者の会計事務の効率化が図られる。

※2 自主事業：指定管理者が自らの責任で、更なる施設サービスの向上のために提案・実施する事業

※3 資本費相当額：県が負担した施設の整備費を収益から負担金として納付されている。

7 管理運営状況

| 項目 | | 指定管理者 (事業計画, 主な取組, 新たな取組など) | 県の評価 |
|-----------|--|---|--|
| 施設の効用発揮 | <ul style="list-style-type: none"> ○施設の設置目的に沿った業務実績 ○業務の実施による, 県民サービスの向上 ○業務の実施による, 施設の利用促進 ○施設の維持管理 | <p>高齢化で船を手放すという流れがあるが, コロナ禍でマリンレジャーが活発となり, 新たに船を購入し係留する方が増加しており, 当該年度の目標値は達成したが, 更に広島県と指定管理者が連携をした放置艇の誘導や施設 PR 各種宣伝活動に力を入れていきたい。</p> <p>利用者の航路でのスピードの出し過ぎや一般市民のゴミの投棄等マナーを守れない利用が増加しているため, 直接指導や郵送文・掲示での注意喚起等, 幅広く力を入れた。利用者からの要望が強かった有料水道設備を一時係留棧橋に設置し, 営業時間全て利用できるよう対応した。</p> | <p>コロナ禍でのマリンレジャーの活発化や施設の PR, 各種宣伝の効果により艇置数が増加した。</p> <p>施設的环境維持のための指導や注意喚起等を積極的に行うよう努めている。</p> <p>利用者の要望に応え, 有料水道設備を設置し利用者の利便性の向上に努めている。</p> |
| 管理の人的物的基礎 | <ul style="list-style-type: none"> ○組織体制の見直し ○効率的な業務運営 ○収支の適正 | <p>朝夕 2 回の棧橋巡回に必要な時間をかけることにより, 船舶係留状態のこまめな安全確認, 施設の不具合箇所や清掃の必要箇所の早期発見につながった。</p> <p>全ての営業日を正社員 2 名以上の体制とし, 利用者へのサービスが迅速・正確・丁寧に行え, また, 利用者からの質問・要望に余裕をもって耳を傾けることができ利用者満足度も向上した。</p> | <p>施設の維持管理や, 利用者からの要望に応えるための組織体制が十分に整えられている。</p> |
| 総括 | | <p>郵送物・ホームページ等での情報発信と, 日々の巡回・挨拶・清掃活動により, 利用者や地域住民からの感謝を多くいただき, 信頼関係がより厚いものとなったので, 引き続き地域に根差した施設として, 管理・運営を行っていききたい。</p> | <p>新たな利用者の獲得に向けて, 広報に力を入れて取り組んでいる。</p> <p>施設の清掃や, 日常点検など適切な管理と利用者サービスの向上が図られている。</p> |

8 今後の方向性 (課題と対応)

| 項目 | 指定管理者 | 県 |
|---------------------|---|--|
| 短期的な対応 (令和 3 年度) | <ul style="list-style-type: none"> ○新型コロナウイルス感染症対策を徹底した安全なイベントを開催できるよう計画し, 施設の認知度, 利用者満足度を向上させたい。また柳津プレジャーボートスポット利用者にも参加を促していきたい。 ○トイレ浄化槽能力が不足していて, 駐車場の駐車台数と比例し, 悪臭の発生率が上昇する。浄化槽処理能力を上げる必要がある。(ボートパーク福山) | <p>新型コロナウイルス感染症対策を徹底し, イベント等の開催を行う等し, 指定管理者が実施する施設の PR や利用者サービスの向上, 利用促進の取組について, 支援・助言を行う。</p> |
| 中期的な対応 | <ul style="list-style-type: none"> ○8m区画のうち特に駐車場から遠い区画は敬遠され, 空き区画が多いため, 第 2 入退ゲート付近に駐車場を設置する等の対策を検討していきたい。(ボートパーク福山) ○駐車場の利用台数が年々増加しており, 連休・夏季には不足するので, 収容台数を増やす必要があるのではないかと。(ボートパーク福山) | <p>施設利用者の利便性向上や新たな利用者の獲得のために, 必要な施設の修繕や更新等について, 指定管理者と連携して取り組む。</p> |